

=====

RIKKYO UNIVERSITY  
VOLUNTEER CENTER MAIL MAGAZINE

2020. 11. 04

=====

こんにちは。立教大学ボランティアセンターメールマガジン 11 月 4 日号です。

秋季臨時休業期間、いかがお過ごしでしょうか？例年この期間中に行われる学園祭も、今年、新座キャンパスは中止、池袋キャンパスは 11 月 2 日（月）～4 日（水）にオンラインでの開催となり、本日が最終日となります。→<http://www.rikkyo.ne.jp/sgrp/spf/>

学園祭は、クラブ・サークルの活動の成果を発表する機会でもあります。上記の学園祭のサイトでは、他大学のリンクも掲載されていますが、どの大学からも、「大学生活で力を注いできた活動の発信の場作りを、今できるカタチで実現しよう！」という力強いメッセージが伝わってきます。他にも、学園祭情報を検索すると、多くの大学が、10 月から 11 月にかけて開催しているようです。この時期、日頃はなかなかアクセスできない場所の学園祭をオンラインで巡るのも楽しいかもしれませんね♪



CONTENTS

- (1) ボランティアセンターからのお知らせ
- (2) ボラセン関連イベント開催のご報告
- (3) オンラインで参加できるボランティア・イベント等の紹介

=====

(1) ボランティアセンターからのお知らせ

=====

【秋季臨時休業期間のボランティアセンターの窓口業務について】

池袋、新座キャンパスともに、以下のスケジュールで窓口対応いたします。

10/31(土) 一斉休暇

11/1(日) お休み

11/2(月) 開室 9:00～16:30 窓口 10:30～15:30

11/3(火) お休み

11/4(水) 開室 9:00～16:30 窓口 10:30～15:30

11/5(木) 開室 9:00～16:30 窓口 10:30～15:30

※職員・コーディネーターともに交替で出勤・在宅勤務のため、最小人員で対応させていただきます。

### 【コーディネーターに相談してみませんか?】

現在池袋・新座両キャンパスのボランティアセンターでは、コーディネーターに対面での面談を再開しました。(メールによる事前予約制)

池袋、新座キャンパスともに、以下のスケジュールで窓口対応いたします。

月～金 10:30～15:30

また、引き続き zoom による相談も受け付けています。

「ボランティアについて聞いてみたい」「現在取り組んでいる活動についてちょっと相談したい」「ボランティアサークルのことで悩んでいる」という皆さん、ぜひお問い合わせください。

メールは [volunteer@rikkyo.ac.jp](mailto:volunteer@rikkyo.ac.jp) まで

### 【秋学期のボランティア活動について】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本学学生ボランティアサークルのボランティア活動は、本学課外活動の基準に沿った対応を取ることになっています。

夏休みまで、ボランティアの紹介・広報活動も全て中止としてきましたが、秋学期からは、オンラインのボランティアの研修等、感染リスクのないものについては緩和し、情報提供していく予定です。情報提供が開始される際には、また HP や SNS 等でお知らせします。

なお、感染状況が好転した場合、本学課外活動の基準が緩和された場合は、それに準じてボランティア活動も基準の緩和を検討し、本学ボランティアサークル等に周知します。

引き続き、個人の責任においてボランティア活動に参加しようとする場合は、いま行なうことが本当に必要かどうかを慎重に検討し、自己責任の上行動してください。活動先が各自治体等で示している活動再開指針を遵守しているかどうかを必ず確認した上で参加するようにしてください。

以上について、不明な点や活動についての相談があれば、遠慮なくボランティアセンターまでお問い合わせください。

メール：[volunteer@rikkyo.ac.jp](mailto:volunteer@rikkyo.ac.jp)

電話：03-3985-4651

### 【サークルを装った危険な宗教団体に注意してください!!】

大学のキャンパスを中心に勧誘活動を行ない、多くの大学生をメンバーとする危険な宗教団体が存在します。かつて「統一協会(原理運動)」と言われた団体とつながる団体で、立教大学内でも活動しているとの情報が寄せられました。

これらの団体は、自分たちの正体を伏せたまま、スポーツサークル、劇団、コーラスグループなどの活動を装って勧誘し、気づかれないうちに皆さんを取り込んでいきます。最近では流行りの「SDGs」をうたい文句に、環境問題や身近な場所のゴミ拾いなどで勧誘してい

るようです。そのマインド・コントロールの手法は、少しずつあなたを洗脳していきますが、大切な学生時代を台無しにしてしまう危険性をはらんでいます。

秋学期から対面授業も始まり、キャンパスに通学する学生も増えてきましたので、皆さんにはこれらの危険な宗教団体の存在について強く注意を喚起したいと思います。少しでも不安や疑問を感じたら、すぐに学生部やボランティアセンターに相談してください。

### 【Web アンケート実施のお知らせ】

立教大学ボランティアセンターでは、今後の取り組みをよりよいものにしていくために、本センターに対するご意見・ご感想・ご要望を募集しています。

「こんな話が聞いてみたい。」

「こんなイベントがあったらいいな。」

「メルマガで、こんなテーマを取り上げて欲しい。」

など、ボランティアセンターに対するご意見やご感想、ご要望、メッセージなどがございましたら、ぜひお聞かせください。現在、ボランティア活動は制限されていますが、このような状況だからこそ求められていること・できることをみなさんと一緒に創っていきたいと考えています。ご協力をお願いいたします。

アンケートの回答はこちらからお願いします。



<https://forms.gle/81jZZjUMJi6hXAdq6>

---

---

## (2) ボラセン関連イベント開催のご報告

---

---

### 【第3回 Online Volu-cafe ご報告】



第3回 Online Volu-Caféは10月19日(月)、先輩のゲスト学生2名と、1年生2名、コーディネーター2名による座談会形式で行われました。途中でメンバーをスイッチしてセッションを行い、先輩と1年生がお互いにより近く感じられる座談会となりました。

参加者の方からは、こんな声をいただきました。

「先輩方がボランティアを通じて様々な人と繋がる姿に触れ、私もそうなりたいと強く思いました。ボランティア以外の活動と並行してできるか悩んでいた部分もありましたが、背中を押していただき、今後のボランティア活動を前向きに考えられるようになりました。どうやって活動を継続していけるかなども相談できたので、様々なボランティアで価値観を広げ、人を笑顔にするために自分に何ができるのか模索していきたいです。」

「お昼休みは時間が限られてしまうのが残念ですが、人見知りなので、少人数でお話できたことは、話しやすくてよかったです。初めてのボラカフェで、何もやりたい分野も決まっていなくて不安でしたが、先輩から話を聞いていろいろなことに挑戦していこうと思うことができました。」

参加者のみなさんは、まだ1年生で、今はこういう状況ですので、迷って当たり前！と、前向きにたくさんの方の話聞いて、いろいろなことにチャレンジしてみではいかがでしょうか？今後もいろいろな学生を招いてボラカフェを行いますので、ぜひご参加ください。立教時間、twitter、Instagramでお知らせします。初めての方も、リピーターの方も、お待ちしております！

以下、第3回 Online Volu-cafe の概要です。

(先輩学生 A, B、参加者 C, D、コーディネーター E)

<Room1> 先輩学生 A×参加者 C

先輩 A：私は、東北の復興支援や地域のイベントに参加するようなボランティア活動をしていて、高齢者と関わる者や、子ども食堂なども経験しました。

参加者 C：いろいろな領域で活動されていて、すごいですね！私も「地域のイベントに関わるボランティア」に興味がありますが、先輩は実際にどんなことをされていますか？

先輩 A：模擬店を開いたり、地域の人と相談しながら活動をしていて、いろいろな人と関わる楽しさがあります。100人以上が参加する防災キャンプも小学校の体育館で行いました。自分のためにもなるし、楽しいです。新座のサークルに池袋の学生が参加することもあります。1年生の時は、とりあえずボランティア活動に興味があって、たくさん関わっていく中で、興味関心が絞られました。私のサークルでは、幅広く活動できるメリットがあります。

参加者 C：え～、実は私も先輩と同じサークルに入りました！

E：Aさんはいろいろなボランティアに関わっていて、いつもキラキラ輝いている印象です。

先輩 A：他にも、3つくらいのサークルにも入っていましたが、結局辞めてしまいました。結局辞めてしまいましたが、復興支援のサークルで出会った被災地の人と繋がり、その後もワカメ漁のお手伝いに個人的に行っています。

参加者 C：私も復興支援に興味があります！ぜひ活動を広げてチャレンジしたいです。

E：いろいろな人と繋がって話を聞くと、自分の興味も絞れてくるかもしれませんね。

<Room2> 先輩学生 A×参加者 D

先輩 A：私は大学ではボランティアしかしていません。ボランティアで「人と関わること」が多くなり、考えの幅が広がりました。

参加者 D：人の役に立ちボランティアをやってみたいと思っていますが、どんな分野があるのかわからず、周りで行っている人もいなくて…。

先輩 A：とりあえず1年生の頃は手あたり次第いろいろやってみるといいですよ。自分もそうでした。

E：今年の1年生は、授業もオンラインで、友だちを作ることさえも大変かもしれませんね。

参加者 D：春学期は、本当に孤独でした…。夏休みの学部の説明会で、初めて友達とLINEを交換して情報共有できるようになり、秋学期は少しマシになりましたが。先生によっては授業でLINEの交換を認めてくれる場合もあります。

先輩 A：友だちがいないのは大変ですよ…。

E：こういう時だからこそ、ボラカフェのような場でいろんな人と繋がるのも大事ですね。

#### <Room3> 先輩学生 B×参加者 D

先輩 B：入学して半年が過ぎましたが、大学生活や1年生同士の交流はどうですか？

参加者 D：春学期よりは慣れましたが、課題、課題で大変です。私とても人見知りなんです。

先輩 B：えー、とても話しやすくて、そんな風には感じないですけど。

参加者 D：1対1だと話しやすいです。

E：Bさんは、どうやっていろいろな人に話しかけたり、活動を始めたりしましたか？

先輩 B：学科で仲介してもらった所に行ったり、授業にいらっしゃったゲストスピーカーに、勇気を出して自分からお話を聞きに行くようにしていました。高齢者施設やしょうがい児支援等、はじめは手当たり次第やってみました。地元の社会福祉協議会等にも聞いてみては？

参加者 D：実は、以前連絡をしてみました。今はコロナのこともあるので、家族にも相談しながら、安全を確保できるものを考えたいと思います。

#### <Room4> 先輩学生 B×参加者 C

参加者 C：日頃、どんなボランティアをしていますか？

先輩 B：しょうがい児対象の音楽療法や高齢者施設の支援、また単発でお祭りやゴミ拾いにも関わってきました。行った先で、また参加者同士のコミュニティができますよ。

参加者 C：地域再生に関心がありますが、一通り、いろいろなボランティアに関わってみたいのです。ボランティアサークルにも入りました。

先輩 B：うちのサークルは領域も広く、サークルの繋がりの中で新たに始めたボランティアもありますよ。

参加者 C：私は部活にも所属しているんですが、ボランティアとどう両立できるかと考えています。

先輩 B：無理のない範囲で行うのが良いと思います。中には、月に1~2回、また2か月に1回等の単位のものもシーズン単位のものもあります。内容やスケジュールの合うものを探して、活動先にも「繋がりを持ちたい」ということを伝えていけば、自分に合った方法で関わることができると思いますよ。

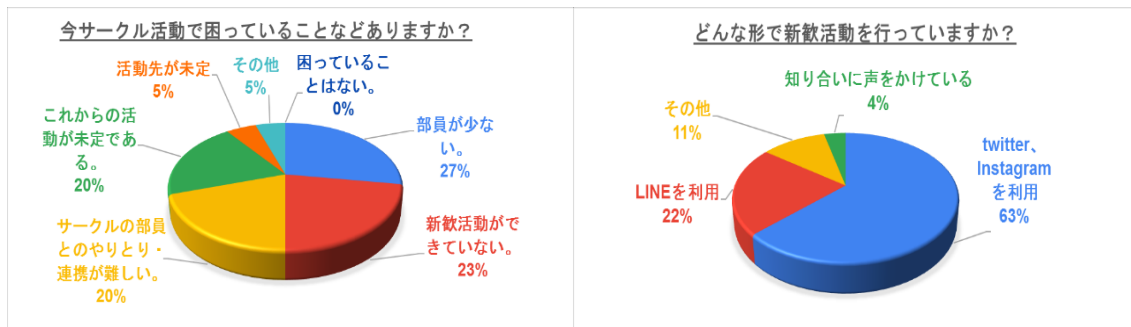
#### 【ボランティアサークル・プレサミット開催報告】



10/21（水）に2時間にわたり、2020年度ボランティア・プレサミットを開催しました！例年、池袋と新座キャンパスの学生ボランティアサークルが一堂に会して行われる「ボランティア・プレサミット」ですが、今年はオンライン開催とし、コロナ禍における非常事態において、従来のようなボランティア活動ができず苦しんでいる学生ボランティアサークル間の横の繋がりを大切にしたいという趣旨から、例年より1か月早い時期に行い、ボランティア系サークル17団体の執行部29名が参加し、各サークルの状況や課題等を共有しあいました。

コロナ禍で、部員募集の新歓活動も学内外でのボランティア活動もなかなか思うようにできない期間が続く中、「他のサークルはどうしているのか？」「これからどうしていけばよいのか？」等々、zoomの画面越しに、各サークルが直面している現状と課題について共有しました。

### <事前アンケート結果>



ボランティアセンターが、事前に行ったアンケート結果です。サークルの部員を増やして活動を活発にすることが例年通りにできず、今後の活動の見通しが立たないということは、学生たちにとって、本当につらいことだと思います。

しかし、多くのサークルがSNSを併用しながら情報を発信し、オンライン新歓や様々な相談に始まり、zoomやmeetでの説明会や顔合わせも行っています。どのサークルも、活動の再開に備えて、今できることを最大限に取り組み、新入生という新しいメンバーを迎え一緒に活動できる日を心待ちにしていることがわかりました。

### <ブレイクアウトセッション>

少人数に分かれて話し合った内容を、全体に戻ってチャットで共有することで、それぞれ

の課題に対する取り組みや今できることをさらに細かい所まで語り合いました。

<主に話題に上がった内容>

**このまま活動が制限されると…**



- ・新歓もできず、来年以降の役職(代表・副代表等)の引継ぎができないと、サークルの存続が難しくなりそうです。
- ・部費の管理やサークル運営の資金調達も大変です。

- ・ **引継ぎをしっかりとしないと後輩も大変だから、引退の時期ずらして後輩をサポートする必要がありますよね。**
- ・ **コロナを機に活動全体を見直しています。**人数が少ないからこそ、マンネリ化していた活動を中止したり改変したりしやすいのでは？



**サークルの活動について**



- (地方や海外が活動ベースのサークル)
- ・全然活動できずに、困っています。オンラインミーティングを開くくらいで…。

- ・現地には行けないけれど、オンラインで座談会なども行っています。外国人労働者の方に話を聞くなど、国内での活動も企画していますよ。  
**同じ分野のサークル同士のコラボ企画もできるかもしれませんね！**



- (国内が活動ベースのサークル)
- ・これまで通りには現場には行けないけれど、感染対策をしっかりと行い大学にも相談した上で、秋頃から、活動を一部再開しました。
  - ・活動場所への訪問は控え、手作りのおもちゃを作って届ける計画をしています。
  - ・環境系の活動を行っていますが、人の集まる所に行けないので、自宅拠点でできそうなりサイクル可能なモノの回収を試験的に始めています。



<全体の振り返り～参加者の声より～>

- **「まだサークルを決めていない新生も多く、そんなに焦らなくても良いのかも…。」**
- **「自分たちだけが直面していると思い焦っていた課題が、実は他のサークルにも共通した課題だと知ることができた。」**

在学生のみなさんも、新生のみなさんも、ここは焦らず、サークル側からは、ゆっくりと自分たちの魅力を伝えられる企画を打ち出し、新生側は自分に合ったイベントなどに



少しずつ参加するところから始めてみても良いのかもしれないね。

今回のプレサミットでは、異なるジャンルのボランティアを行っているサークルと全体で共通の認識ができ、開催した意義があったと思います。ボランティアセンターのスタッフも、サークル執行部のみなさんと想いの詰まった2時間を一緒に過ごし、この日話題に上がったことに対して、また一つずつ取り組んでいこうという想いを新たにしました。

SNSの相互フォローなども行いながら、コロナ禍の今、そしてポストコロナの時代も、誰もが楽しくボランティア活動に参加できるような仕組みを、みなさんと一緒に考えていきたいと思います。対面やオンラインでボランティア相談をしたい、サークル間を繋いでほしい等、ぜひボランティアセンターをご活用ください。

---

### (3) オンラインで参加できるボランティア・イベント等の紹介

---

#### 【2020食フェスタ東京全国集会 オンラインイベント】

東京ボランティアセンターよりお知らせです。With コロナだからこそ「食」を基軸に、地域コミュニティ&多世代で支え合える居場所を広げましょう！

コロナにより人との距離が求められる中、改めて「居場所」の持つ力が注目され、今まで見えなかった課題が顕在化し、新しい地域資源とのつながりが生まれました。今回のセミナーでは、そうした様々な立場の方にご登壇いただき、コロナ禍の食育、助成の活用、活動方法や連携についてお話いただきます。

ぜひみなさんでコロナに負けない食支援活動について考えてみませんか？

- ◆日時：2020年11月22日（日）10:00～16:00
- ◆参加費：無料
- ◆プログラム：こちらをご参照ください→<https://www.mow.jp/pdf/fiestatokyol122.pdf>
- ◆定員 100名

(編集：ボランティアコーディネーター／広瀬)

---

#### 立教大学ボランティアセンター

---

##### ◎池袋キャンパス

場所：5号館1階

開室時間：月～金 9：00～17：00

土曜日 9：00～12：30

##### ◎新座キャンパス

場所：7号館2階



開室時間：月～金 9：00～17：00

※新型コロナウイルス感染拡大のため6月1日以降は短縮開室しております。

月～金 10:30～15:30

土曜日 10:30～12:30（新座キャンパスは原則として閉室です）

職員・コーディネーターともに交替で出勤・在宅勤務のため、休日授業日は、池袋・新座ともに最小人員で開室、授業休講日は、池袋・新座ともに閉室とさせていただきます。

◎ホームページ

[http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular\\_activities/volunteer.html](http://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/extracurricular_activities/volunteer.html)

◎メールアドレス

[volunteer@rikkyo.ac.jp](mailto:volunteer@rikkyo.ac.jp)

◎TwitterID @rikkyo\_volucen

[http://twitter.com/rikkyo\\_volucen/](http://twitter.com/rikkyo_volucen/)

◎Instagram

[https://www.instagram.com/rikkyo\\_vc/?hl=ja](https://www.instagram.com/rikkyo_vc/?hl=ja)

配信停止を希望の場合は以下の Google Form を送信してください。

<https://forms.gle/xFtZVvd94JelnJwm7>

---

(C)2019 RVC all rights reserved.

---